

2022.6.6

国連グローバル・コンパクトへの参加とエコロジーへの移行プロセスの加速 第60回ミラノサローネのコミットメント

60周年という特別な年に、ミラノサローネは、環境と社会の両面から家具システム全体を持続的に発展させていくというコミットメントを再確認しています。そのために、イベント構築のためのエコガイドラインを自らに課し、出展社に提案しています。そして、本日、「健全な」責任ある社会の構築に向けて、**国連グローバル・コンパクト (UNGC)** へ署名し支持を表明しました。

第60回ミラノサローネは6月7日から12日まで、ロー・フィエラミラノで開催されます。この節目にミラノサローネは、**品質、イノベーション、美**、そしてこれまで以上に**サステナビリティ**を通じて祝賀の意を表明します。サローネは、毎年生産される美が地球と調和し、倫理的で持続可能でなければならないことを認識し、循環性と環境への影響に対するこの分野の取り組みと注意に焦点を当て、将来を展望します。すでに昨年9月の「Supersalone (スーパーサローネ)」で、国際的なデザイン界全体に強く明確なメッセージを送り、環境への配慮という基準と家具製作を融合させた国際的なイベントに復帰することが可能であり必要であることを示したのです。すべての努力の結果、**Supersalone は ISO 14064-1:2019 の認証を取得**しました。これによりサローネは、**軌道修正が可能**であるという証の第一歩を踏み出したのです。そしていま、イベントの持続可能性マネジメントシステムである **ISO20121** の認証取得に向けたプロセスをすでに開始しています。

この成功を受け、ミラノサローネは、サプライチェーン全体のサポートと結束を強化するために、この夏の開催では、更なる取り組みを決定しました。まず、共通部品の建設に必要なリサイクル素材や再生可能素材、再利用可能素材のパートナーやサプライヤーを特定し、使用する資源を補う、または再生させることに取り組みました。

そして、建築家**マリオ・クチネッラ**に、まさに素材の変換と再利用を核とした一大プロジェクトを一任したのです。「**Design with Nature** (自然に寄り添うデザイン)」展は、正にサローネの意図するところで、循環型社会の実践を具体的に示すものです。もし、環境の緊急性が、採取された素材からオーガニック製品や再生製品への切り替えを必要とするのであれば、「**Design with Nature**」は、工業規模で生産され、家具システムや建築業界で使用されるエコな代替品がすでに存在すると主張しています。この特別展では、マイクロファイバーの椅子張りや、鮭やイワシの鱗、菌糸と廃布やセルロースファイバーでできた音響パネル、リサイクルプラスチックや再生ポリウレタンなどが大部分を占め、提案しています。代替案は、私たちの街や家庭で容易に入手できる素材ばかりです。「**Design with Nature**」は、この意識、知識、そしてエコロジーな好循環の活性化を加速させたいと考えています。



このイベントの主役である出展社を巻き込み、ブースを環境に配慮したデザインにするよう、具体的なコミットメントを求めます：

- プラスチックフリーで再利用可能な素材（木材や 100%再利用可能なプラスチックなど）
- リサイクル（アップサイクル）
- 環境負荷の低い素材
- FSC や PEFC の認証を受けた素材の使用の優先
- 素材供給元の物流面での持続可能性を考慮
- 施工において環境に配慮した製品や装置を採用
- 素材や電気、水の節約
- クラス A の電子材料の優先
- 印刷に生分解性インクの使用
- プロジェクトを構成する部品の選択において、「適応性」と「再利用のための分解性」を基本原則とし、それらがどこでどのように再利用または廃棄されるかを考慮 など

ミラノサローネは、環境、社会、経済的責任に向けたさらなる決定的なステップとして、世界 160 カ国以上から 15,000 社以上が参加する、企業の持続可能性に関する世界レベルで最も重要なイニシアティブ、**国連グローバルコンパクト (UNGC)** に賛同しています。これは、世界中の企業に対して、長期的にサステナビリティの価値を支持し、適用し、促進することを求める真の呼びかけです。

ミラノサローネ マリア・ポッロ代表 コメント

「私たちが国連グローバル・コンパクトに参加するための事務手続きを開始したのは、すべての企業、組織、連盟の行動が、深い責任感によって導かれるべきだと考えたからです。地球の未来と知識の継承、革新的なソリューションの研究開発を追求し、今日の行動が子どもたちの明日を決めることを意識しています。UNGC の 10 原則は、人権の保護、環境に対するより責任あるアプローチの促進、あらゆる形態の腐敗との闘いを促進するものです。また、家具やデザインシステムには、現在の産業発展が環境や社会に与える影響を和らげる、あるいは少なくとも軽減するために必要な、変革の一端を担うことが求められています。私たちは皆、エコシステムの一部であることを自覚し、サローネに関わる皆と一緒に取り組めることを光榮に思っています。そうしてこそ、ミラノサローネがこれまでの歩みを真に示す舞台となり、持続可能で高潔な見本市となる世界初のイベントとなるのです」

プレスお問い合わせ先: 山本幸 yuki@milanosalone.com



Salone del Mobile. Milano

Press

International press info: Marva Griffin–Patrizia Malfatti press@salonemilano.it